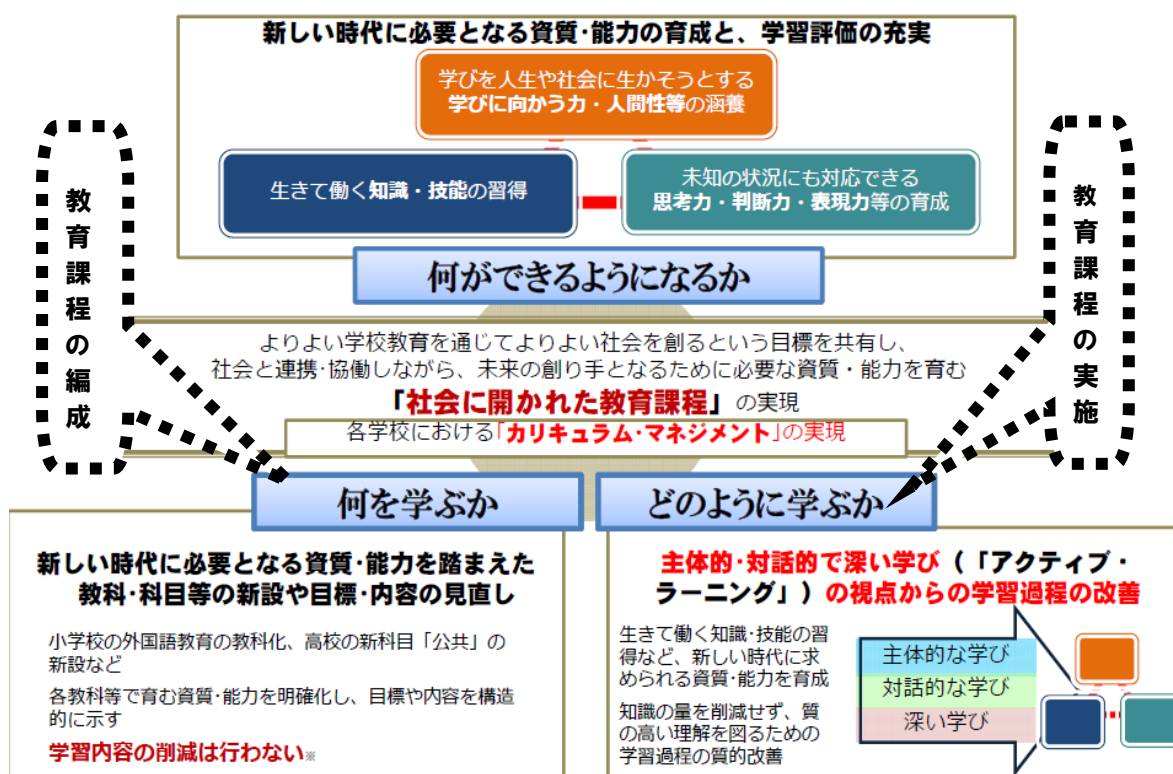


3 教育課程

参考資料：文科省資料「学習指導要領改訂の方向性」



学習指導要領では、各学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるようにするのかを、教育課程で明確化し、社会との連携や協働によりその実現を図っていくという「社会に開かれた教育課程」の実現が重要であると示されている。

(1) 「生きる力」を育む特色ある教育課程の編成を

「生きる力」の育成という教育の目標が、各学校の特色を生かした教育課程の編成により具体化され、教育課程に基づく個々の教育活動が、児童生徒一人一人に必要な力を育むことに効果的につながることを目指している。

各学校においては、学校長の学校経営方針に基づき、学校や地域及び児童生徒の実態を踏まえ、学校としての育成を目指す資質・能力を明確にして、その育成に向け、全教職員が共通理解のもと、創意工夫を加え、特色ある教育課程を編成していただきたい。

また、児童生徒や地域の実態に基づき、教育内容や時間などを適切に配分したり、教育課程の実施に必要な人的・物的な体制を確保するとともに、その改善を図ったりすることなどを通して、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」の確立に努めていただきたい。

《主な確認事項》

- ☐ 教育課程編成に対する学校の基本方針が明確であり、全教職員が共通理解のもとで編成に関わっているか。
- ☐ 全教職員が学校教育目標や育成を目指す資質・能力を共有し、一人一人が各教育活動との関連を意識しながら学校経営への参画意識を高めているか。
- ☐ 各教科等の標準授業時数と指導内容を把握し、確実に実施できるよう計画されているか。
- ☐ 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すために、編成に対する基本的な方針が、家庭や地域とも共有され、協働する教育課程となっているか。
- ☐ 学校教育目標と教育課程をつなぐ、育成を目指す資質・能力が明確に設定され、その具体策が明確に示された教育課程となっているか。
- ☐ 教職員が役割分担しつつ、相互に連携してカリキュラム・マネジメントに参画できる教育課程となっているか。
- ☐ 学校や地域の実態、保護者の願いや、児童生徒の発達の段階の特性を考慮した教育課程になっているか。

- ☐ 学校教育目標や育成を目指す資質・能力を踏まえ、教科横断的な視点を取り入れた、整合性や一貫性のある教育課程となっているか。
- ☐ 地域の教育資源を生かした教育課程となっているか。
- ☐ 幼・小・中・高の接続を円滑にするための教育課程となっているか。
- ☐ 学校間の連携や交流が位置づけられた教育課程になっているか。

(2) 確実な実践と質的向上を目指した取組を

各学校においては、各教科等の内容を確実に実践することに加え、育成を目指す資質・能力を三つの柱の視点からバランスよく育むことを目指し、量的・質的な管理に努めていただきたい。

《主な確認事項》

- ☐ 各教科等の標準授業時数と指導内容を把握し、それらを確実に実施されているか。
- ☐ 次に示すような教育課程として実施されているか。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育課程
 - ・各教科等の特質に応じて言語活動の充実が図れる教育課程
 - ・学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動が計画的に取り入れられた教育課程
 - ・児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会が設けられた教育課程
 - ・学級経営の充実を図ることを配慮した教育課程
 - ・児童生徒の理解を深め、学習指導と関連付けながら児童・生徒指導が目指す「自己指導能力」の育成を図る教育課程
 - ・特別活動を要としつつ、各教科等の特質に応じたキャリア教育の充実が図られた教育課程
 - ・児童生徒や学校の実態に応じて、個別学習やグループ学習、繰り返し学習、習熟の程度に応じた学習、児童生徒の興味・関心に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動が位置づけられた教育課程
 - ・特別な配慮を必要とする児童生徒について、個々の障害等の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫が位置づけられた教育課程

(3) 学校評価等を生かした教育課程の工夫改善を

学校評価は、教育課程の編成・実施・改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、教育課程を中心として教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」と関連付けて実施することが重要である。

各学校で編成・実施した教育課程が、学校教育目標の実現に向けて機能していたか、さらによりよい教育課程になるよう、定期的に適切に評価し、結果に基づいた学校行事等の精選や、日課の工夫、教職員の同僚性を育む研修等を行い、教育課程の充実につなげていただきたい。

また、今後も引き続き、教職員と保護者・地域住民が、学校や地域の現状と課題について共通理解を深め、PDCAサイクルを十分に活用しながら、見直し・改善に取り組んでほしい。その際、重点化を図った目標の達成状況に対する評価を重視していただきたい。



《主な確認事項》

- ☐ マネジメント・サイクル（PDCA）により、組織的・継続的に学校評価を実施しているか。
- ☐ 評価時期、評価者、評価対象、評価方法等が明確になっているか。
- ☐ 評価項目・指標（成果指標や行動指標）を設定し、全職員で共有しているか。
- ☐ 自校の特色ある学校づくりの推進を踏まえ、評価項目を焦点化・重点化しているか。
- ☐ 教育課程を評価するために、諸活動の記録や諸検査等の結果分析などの基礎資料の収集や活用に努めているか。
- ☐ 児童生徒の姿から、目標の達成状況や目標達成に向けた取組（具体策）状況进行评估しているか。
- ☐ 評価結果を分析し、達成状況や課題を明らかにして、「だれが、何を、いつまでに、どのように」という視点での改善策が具体化されているか。